江別工業団地だより

ついしかり

令和8年1月15日 vol.170

■発行／江別工業団地協同組合　江別市工栄町15の1　電話384-3262■発行責任者／理事長 杉野邦彦■印刷／笹岡印刷株式会社

＊広報「ついしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」（現在の工業団地周辺）の地名からとったものです。

江別駅前公園イルミネーション

目　次

○ 江別駅前公園イルミネーション …… 1
○ 年頭のご挨拶 …… 2～3
○ 視察研修旅行 …… 4～5
○ 企業紹介 三晃金属工業㈱ …… 6
○ 献血活動報告 …… 7
○ 2025年度の健康診断結果まとめ …… 8～9
○ 親睦ボウリング大会 …… 10～11
○ 【お知らせ】赤い羽根共同募金 …… 11
○ 杉野理事長 中小企業団体全国大会で「組合功労者」を受賞 … 12
○ 令和7年度優良商工従業員表彰式 …… 12
○ わが郷土の歴史　その58 …… 13
○ 【予告】職長安全衛生責任者教育講習会 …… 14
○ 【予告】低圧電気取扱者労働安全衛生特別教育講習会 … 14
○ 【予告】親睦麻雀大会開催 …… 14
○ 組合予定行事 …… 14

年頭ご挨拶
～元気に駆け抜ける午年に

江別工業団地協同組合
第6代理事長
杉野 邦彦

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

日頃より組合運営にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて昨年末、世相を反映した「今年の漢字」は「熊」でした。全国で相次ぐ熊の被害は私たちの生活を震撼させましたが、このことは私たちの生活面を取り巻く環境の変化と危機意識の変化を大きく反映したものと思います。一方で、政治史の節目ともいえる大きな変化は「初の女性首相・高市内閣の発足」ではないでしょうか。ネガティブ面で台湾・中国問題はあるにしても、ポジティブにとらえれば未だに70％を超える支持率を得て、しかも20 ～ 30才台に至っては90％を超えています。昨年の関西万博もそうでしたが、何かこれからの未来に、明るさと期待感を持てそうな、そんな気持にさせてくれます。

私たち江別工業団地協同組合も昨年創立51年目がスタートしました。また5月の総会にて新役員体制が承認され、新たなメンバーを含めてスタートすることができました。私たちの工業団地は「お豆腐からレンガまで」131社3,500名からなる地域最大の企業集団です。そして５委員会（総務、安全衛生、福利厚生、販売購買、共同受電）を中心に年間100を超える事業に取り組む、全国的にも特異なチャレンジ集団だと思っています。今年は、全国産業安全衛生大会が9月16日から18日までの3日間、札幌市で開催されます。なお分科会におきまして江別工業団地協同組合の取組報告をさせていただくことになりました。ぜひ組合員のみなさんご参加ください。

さらに昨年度はお陰さまで、組合の基盤事業を支える変電所の20年に一度の大掛かりな変電設備更新工事が無事に完了しました。これからも安全で安定した電力を安価に提供できるように努力してまいりますので引き続きよろしくお願いいたします。今年も組合電力部が中心に江別駅前公園に30,000個のLED電球を設置したイルミネーションが点灯しました。3月末まで江別地域と市民の心を魅了する灯をご堪能ください。

そして、今年も組合が掲げる5つの工業団地づくりに一緒に取組みましょう。

１）安全で、安心な工業団地づくり
２）健康で、元気に働ける工業団地づくり
３）地域に開かれた、地域に貢献する工業団地づくり
４）ともに学び、ともに成長する工業団地づくり
５）和気あいあいと、楽しい工業団地づくり

これからも「チーム江別」の力を発揮して、元気に駆け抜ける午年にしていきましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭のご挨拶

江別市長
後藤 好人

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族とともに健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は、米国の通商政策等の影響による世界的な経済の変動や、食料品を始めとした物価の高騰、夏の記録的な猛暑など、市民生活や地域経済にさまざまな影響を及ぼした1年でした。皆様におかれましても、物価高騰に伴う原材料費等のコストの増加により、厳しい経営環境が続く中、難しい舵取りを迫られた年だったのではないかと拝察いたします。一方で明るい話題もございまして、昨年11月に開催された「第77回中小企業団体全国大会」において、前年の江別工業団地協同組合の「優良組合」受賞に続き、杉野理事長が「組合功労者」として表彰されました。2年連続での受賞は北海道で唯一とのことで、市といたしましてもこれまでのご尽力に敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

さて、本年は、まちづくりの指針である「えべつ未来づくりビジョン」第7次江別市総合計画の3年目を迎えます。これまで取り組んできた人口減少対策をはじめとする重要な課題への対応を加速させ、将来都市像である「幸せが未来へつづくまちえべつ」の実現に向け、様々な取り組みを積極的に推進してまいります。

今後も厳しい経済情勢が続くことが予想されますが、この計画では、前半5年間で重点的・集中的に取り組む「未来戦略」として、「みんなの働きがいと元気な経済をつくる」を掲げており、皆様とともに地域経済の発展を目指してまいりたいと考えております。

また、「江別市子どもが主役のまち宣言」の理念に基づき、全ての子どもが、健やかに育ち、学び、笑顔で暮らせるよう、子どもの気持ちや権利を尊重しながら、子どもにやさしいまちづくりを進めてまいります。

市立病院では、現在見直しを進めている「江別市立病院経営強化プラン」に基づき、地域医療提供体制を確保しつつ、より一層の経営強化を図ります。

新しい年も、皆様と力を合わせ、地域経済の活性化や子育て・教育環境の充実、ゼロカーボンシティ、デジタル化の推進に向けた取組みなどを着実に進め、まちの魅力を高めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

新たな年が皆様にとって笑顔あふれる1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和7年

視察研修旅行

令和7年10月10日（金）～ 11日（土）の1泊2日、15名で「視察研修旅行」に行ってきました。その様子を、皆さんにお知らせいたします。

10/10 1日目　江別～大樹町～十勝川温泉

昨年は組合創立50周年で新潟へ行き交通系の特殊車両製造会社を訪問しましたが、今年は、地上を飛び越え、「北海道に宇宙版シリコバレーをつくる！」と、宇宙ビジネスの拠点になるため頑張っている北海道大樹町へ行ってきました。

昨年に引き続き体調を壊してしまった理事長を自宅に残し、総勢15名で大型バスに乗り込み、さあ出発です。まだ薄暗い朝5時30分に出発、高速道路の上から日の出を見て、長い高速道路を走り、ようやく大樹町に到着したのは9時15分。到着後、すぐに「民間の宇宙開発」について映像を見ながら学習しました。

「へー！宇宙ってこんなふうなの？」「普段の生活の中にそんなふうに関係しているの？」と、宇宙を身近に感じていなかった私には驚くことばかりでした。その後、民間に開かれた商業宇宙港「北海道スペースポート（HOSPO）」へ移動し、実際にロケットを製造し打ち上げている会社（インターステラテクノロジス㈱）の概要や、スペースポートとして目指している姿、実験で使われたロケットや格納庫、使用している滑走路を見てきました。当日、滑走路の使用がなかったため、運よく滑走路に入らせていただき、ロケットが飛ぶ姿を想像してきました。今はまだ身近に感じられない宇宙開発ですが、何十年後かにはアメリカまで50分で行ける時代が来るそうです。その時が楽しみですね。

宇宙ビジネスをしっかり学んだあとは、休憩を兼ねて六花亭中札内美術館から六花の森を見学です。ちょっと風がありましたが、絵画は美しく、紅葉に染まる樹木がとても良かったです。美味しいお菓子とお茶で休憩もしましたので、最後は、今夜の宿となる十勝川温泉へ向かいます。モール温泉の湯にたっぷりと浸かり、宴会場ではワインと日本酒を片手に美味しいお料理を食べ、楽しい夜は更けていきました。

10/11 2日目　いけだワイン城～福原美術館～藤田牧場

翌日は、早めに朝食を取り、池田町にあるいけだワイン城を見学。久しぶりに訪れたワイン城は趣や製造工程は変わっていませんでしたが、作られている商品が増えていたことにビックリ!もちろん、無料・有料どちらも試飲をして、ワインを買ってきました。美味しかったですよ～。みなさんも機会があれば、是非訪れてみてください。

ワインを楽しんだ後は、1年に一度公開される期間限定の「福原山荘」へ移動。ここは、鹿追町にある別荘の庭で、紅葉の時期には、広大な庭が一面赤く彩られます。例年なら10月11日は見頃を迎えている頃なのですが、猛暑の影響か私たちが訪れた日はまだまだ3分くらいの色づき方でした。後から聞いた話では、1週間後に見頃を迎えたそうです。

紅葉を楽しんだ後は、同じ鹿追町にある「福原美術館」へ移動。ここには鹿追町ゆかりの洋画家神田日勝の作品や片岡球子、東山魁夷等小さい美術館なのに様々な作品を見ることができます。レストランも併設していますので、ガラス作品や素晴らしい絵画を見た後に一息つくこともできます。近くまで行った際は、是非、ご覧ください。

さあ、視察研修もいよいよ最後の研修場所へ移動です。最後は、同じ鹿追町にあるカントリーファーマーズ藤田牧場さんへお邪魔し、牛についての学習と乳しぼり&バター作り体験です。まずは牛についての学習は、牛の体の構造や1日に食べる量や生乳の量、そして一生について聞きます。何十年も生きていると思っていた牛ですが、なんと6年程度しか生きていられないそうです。それを聞いてちょっともの悲しくなるとともに、大切に飲み、食べなくては、と、感じました。学習の後は、最新式の巨大牛舎施設を見学して、いよいよ乳しぼりです!できるかな?と、不安でしたが、意外と上手くできて楽しかったです。

最後は、絞られた生乳でバター作りです。みんな真剣にボトルを振り続け、ようやくできたバターをクラッカーにつけて試食。出来立てのバターはとっても美味しかった。そしてアイスも食べてしまった(笑)。子供さんを連れていくと、きっと楽しいと思います

目いっぱい予定を詰め込み、朝早く出発し、夜遅く帰ってきた視察研修旅行でしたが、学習・芸術の秋、食欲の秋、どちらも堪能した視察研修旅行でした。

来年は、道外(東北地方)へ行く予定です。より多くの組合員さんと行ってみたいので、沢山の参加をお待ちしています。

〈記録者／事務局　村田京華〉

—— 工場・倉庫をお持ちのみなさまへ

屋根のお困り事は三晃へ

診断だけでも対応しております。
まずはご相談下さい。

屋根・外壁調査 依頼フォーム

屋根のリーディングカンパニー

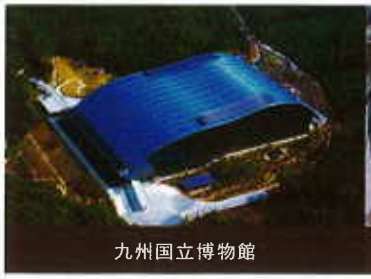
三晃金属工業株式会社の紹介

創業年数 **76年**
工場・倉庫から街のランドマークまで
選ばれ続けています。

年間施工件数	年間施工面積	年間診断件数	施工協力業者
3,000件以上	300万m²以上	1,000件以上	全国 520社

主な施工実績

皇居新宮殿屋根（1967年）、幕張メッセ屋根（1989年）、東京国際空港（1992年・2014年）、関西国際空港（1994年）、大阪ドーム（1996年）、札幌ドーム（2001年）、九州国立博物館（2003年）、国立競技場（2019年）工場や物流倉庫等、多数の建物を手掛けています。


九州国立博物館

埼玉スタジアム

お問い合わせは、上記QRコードまたは、
三晃金属工業（株）北海道支店
営業課／瀬野までご相談下さい。
Tel ：011-726-3551
Mail：seno.takaki@snkk.jp

江別工業団地協同組合 組合員の皆様へ 献血活動のご報告

日頃より献血にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。
令和7年11月18日（火）に実施いたしました献血のご協力数は、以下の通りとなっています。

年　度	実施時間	受付人数	200mL	400mL	不適
2023年度	8:30～15:30	51名	0名	50名	1名
2024年度		75名	0名	70名	5名
2025年度		47名	0名	40名	7名

今年度は、江別市内に 大雪警報発令 の影響により、
昨年度実施と比べると協力数は減ってしまう結果となりました。
悪天候のなかご協力いただき、誠にありがとうございます。

たくさんのご協力ありがとうございました！

冬の献血はさらに厳しく

例年、冬の北海道における献血は、様々な要因により、協力を得られにくい状況となります。

① 雪害による献血バスの遅延や運行中止
② 自宅や職場の除雪による疲労蓄積
③ 風邪やインフルエンザの流行
④ 年末年始による多忙や長期休暇

北海道の冬は、大雪の影響で度々道民の生活が混乱させられます。

しかしながら、輸血医療は如何なる状況下でも止まることはなく、血液製剤が供給されない日はありません。

輸血用血液を安定して供給するために、北海道では**毎日700人以上の献血協力**が必要です。

献血にご協力いただいたばかりで、誠に恐縮ですが、献血可能日を迎えましたら是非、献血バスや献血ルームでのご協力もよろしくお願い致します。

ラブラッド会員登録がまだお済でない方は、
ぜひご登録をお願いします。予約する際に便利ですよ！

【お問い合わせ】北海道赤十字血液センター献血推進課　電話011-613-8335（平日9:00～17:00）

2025年度の健康診断結果まとめ

2025年度健康診断は、602名（男性：503名、女性：99名）の方が受診されました。
この結果をもとに有所見者の状況や生活習慣の状況をまとめました。

● 健康診断受診状況

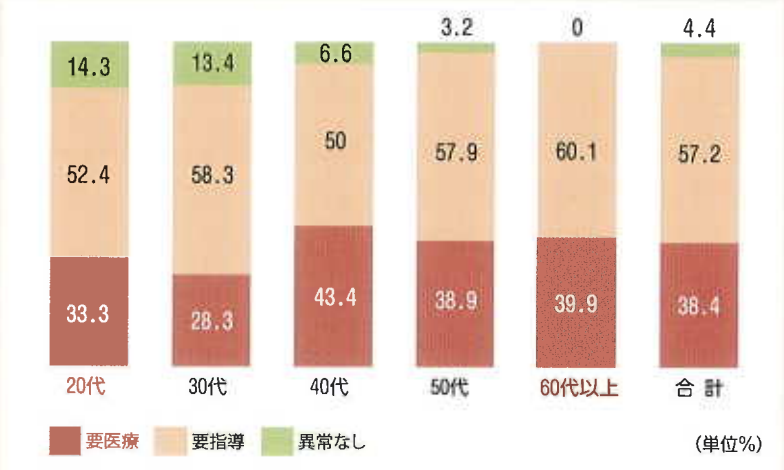
年代	男　性	女　性	合　計	%
10代	1人	0人	1人	0.2%
20代	26人	4人	30人	5.0%
30代	80人	15人	95人	15.8%
40代	89人	25人	114人	18.9%
50代	155人	27人	182人	30.2%
60代以上	152人	28人	180人	29.9%
合　計	503人	99人	602人	100.0%
%	83.6%	16.4%	100.0%	

40代以上の方が全体の約8割を占めています。
男女の比率は、男性83.6%、女性16.4%となっており、昨年とほぼ同率でした。

● 要医療者率（健康診断で治療や精密検査が必要と判断された方の割合）の経年変化

要医療者率は、2022年度まで減少傾向でしたが、その後増加傾向で今年度は約30%を超えました。
今後も皆様お一人おひとりはもちろん、組織ぐるみで、生活改善され、データ改善に向かいますよう、お互いのお声かけや取り組みをお勧めします。

● 有所見者率



有所見者率は95.6%でした。昨年度（92.9%）より増加し、全国の有所見率59.4%（2024年度）と比較するとかなり高い割合です。有所見者率は年齢と共に上昇しますが、若い世代から、高めの傾向にあるのが気にかかります。食生活や運動など日頃の生活習慣を振り返るよう心掛け、組織ぐるみで健康づくりに取り組むなど、早急かつ継続的な対策をお勧めします。

健診結果で「所見あり」の方へ

年に一度の健診結果の有効活用を!!

●要精密検査・要再検査の方は…

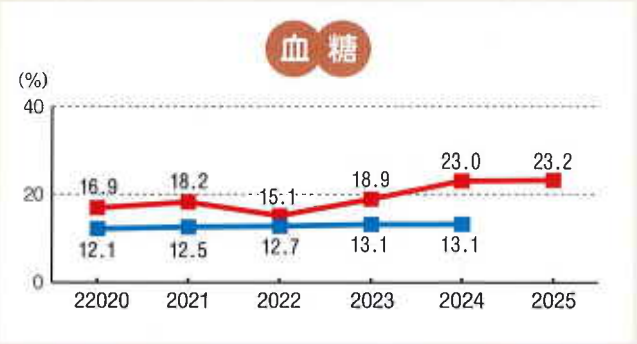
必ず受診（再検査の場合は該当月を目安に）しましょう。検査を受けて大きな異常がない場合は、生活習慣のアドバイスを受けましょう。治療が必要な場合でも、早期発見・早期治療がその後の病状の悪化予防、回復につながります。

●生活注意・経過観察の方は…

食生活の工夫や運動、休養に心掛け、改善に向けてチャレンジしてみましょう。

● 検査項目別有所見率の経年変化

特に有所見者が多い4項目（血圧、脂質、肝機能、血糖）について全国値（2024年度が最新）と比較してみます。



◆全国的に、血圧、脂質、肝機能、血糖の有所見率が高くなっています。江別工業団地様のデータのいずれの項目も全国データを大きく上回っています。＊血圧は若干の改善がみられました。

◆血圧、脂質、肝機能、血糖は、高値であっても自覚症状がない場合が多く、生活改善や受診につながりにくい傾向があります。その状況を長期間放置しておくことは、確実に血管にダメージを与え、動脈硬化⇒心疾患や脳血管疾患の引き金になっていきます。進行すると、日常生活やお仕事を続けていく上で支障をきたすこともあります。本日からでも遅いということはありません。ぜひ、今後も予防や悪化予防に心掛けていきましょう。

江別工業団地の皆様へ

毎年、健康診断を受診いただきありがとうございます。

皆様の健康診断は『労働安全衛生法』という法律に基づいています。企業は、従業員に健康診断を実施し、従業員もその指示に従うことが求められます。健診結果によって、雇用主は、就業場所や業務内容の変更、労働時間の短縮等の適切な措置をとらなければなりません。

健康診断は、健康であるか、病気の危険因子があるか否かを見ていくもので、病気を早期に発見し、早期に治療することを目的としています。

今回の江別工業団地様の健康診断結果から、全国の傾向と共に見えたこともあると思いますが、今年度は、特に（血中）脂質データや喫煙率につきましてより一層の改善をお勧めします。皆様の各職場におかれましても、職場ぐるみでより一層の生活改善に向けての取り組みにつながっていかれますと幸いです。

ぜひ、お元気に活躍できるため、10年先、20年先もそして勤続後も健康に過ごせるよう、健診結果を大いにご活用いただけたらと思います。

第22回 親睦ボウリング大会 開催

第22回親睦ボウリング大会＆焼肉交流会が、11月15日（土）午前10時20分より、「サッポロオリンピアボウル」で開催されました。

9企業28名が参加され、1チーム4名で7レーンを使い熱い戦いが繰り広げられました。

はじめの増本副委員長の挨拶では、昨年6連続ストライクを出しダントツで優勝した吉田委員長を打倒しましょう！とお話がありました。

岩口委員によるゲーム説明のあと、増本副委員長のお話にもありました前大会優勝！吉田委員長による始球式でゲームの始まりです。試合は2ゲームの得点で個人賞、団体賞を競います。

ゲーム開始早々に「ストライク！」「スペア！」とハイタッチする様子が各レーンで見られ、年々参加者のレベルが上がってきていると感じました。

個人の部では、1ゲーム目が終わり清水サッシ㈱児玉さんが186点、㈱菊水熊谷さんはなんと202点と会場もざわめく高得点でした。

このまま2ゲーム目も清水サッシ㈱児玉さん164点、㈱菊水熊谷さんは204点と高得点を続け優勝、準優勝が飛びぬけた成績となる結果でした。

なお個人優勝㈱菊水熊谷さんは総得点406点で22回開催されている親睦ボウリング大会史上最高得点となりました。おめでとうございます。

また札幌機工整備㈱様からの協賛賞を27位（ブービー）、日成ビルド工業㈱ 菅さんにお渡ししました。札幌機工整備㈱様 ご協賛ありがとうございました。

各レーンの2位と3位のトータルスコアで順位を決める団体賞は個人優勝の㈱菊水 熊谷さんが入った25レーンがトータルスコア511点と準優勝の496点と僅差で優勝となりました。各賞受賞のみなさまおめでとうございます。

ボウリング終了後はサッポロビール園へ移動し、開拓使館にてジンギスカン、そしてビールを堪能していただきました。表彰式では各賞受賞者に景品をお渡しし、お持ち帰りいただきました。

「次回の開催も楽しみにしています」とご参加いただいたたくさんの組合員さんからお声をかけていただきました、また次回もご参加お待ちしております。

お知らせ

10.31 赤い羽根共同募金

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。江別工業団地組合では平成13年より篤志として毎年30万円を福祉活動の資金の一助として、サポートさせていただいております。

杉野理事長　中小企業団体全国大会で「組合功労者」を受賞

令和7年11月12日、広島グリーンアリーナで開催された第77回中小企業団体全国大会において「組合功労者」として表彰されました。

組合功労者は「永年にわたり中小企業の枢要にあって、その育成強化に尽力し、中小企業の振興に貢献された功績」が認められて表彰されるものです。当組合は昨年「優良組合」の表彰を受けており、2年連続の受賞は北海道で唯一の快挙となりました。

令和7年度 優良商工従業員表彰式

令和7年11月21日（金）江別商工会議所が主催する「令和7年度優良商工従業員表彰式」に於いて、当組合の統括部長を努める薄尚吾さんが30年勤続表彰を受賞し表彰されました。

終了後、感想を聞いてみましたら「北海道胆振東部地震の時に組合で一晩過ごしたことなど大変なこともありましたがあっという間でした！」とのことでした。

これからもよろしくお願いいたします。

わが郷土の歴史　その58

盛んだった江別競馬場
99年前駆けていた 地方競馬

（一般財団法人北海道文化財保護協会理事）　石垣　秀人

年末の大一番、国民的行事ともなった競馬の有馬記念（G1）は昨12月28日、千葉・中山競馬場、芝2500mで行われた。第70回レースは3番人気の「ミュージアムマイル（C・デムーロ騎手）」が優勝した。とくに今回は昨年秋に放映されたテレビ日曜劇場「ザ・ロイヤルファミリー」（TBS系・HBC）でクライマックスが有馬記念だったことで、競馬への注目度が例年以上に高まったとのこと。ふだん競馬に興味のない人もドラマを通して競馬に関心を寄せたものと思われる。これが有馬記念の売り上げにも貢献した。馬券売り場のアイバ江別発売所・JRA場外馬券売場（東野幌町）も賑わった。

有馬記念では1992（平成4）年12月27日、第37回レースでは「メジロパーマ」が優勝、騎手は江別出身の山崎泰誠が騎乗した。今年の干支は「午（うま）」。競馬では江別も99年前、地方競馬で盛んな時期があった。

ひょうたん・飛鳥山・見晴ヶ丘

江別における競馬は1890（明治23）年9月15日、飛鳥山神社（江別神社の前身）が建てられた際の祭典競馬とされている。飛鳥山神社は江別屯田公有地である飛鳥山山頂にあったもので、現在の飛鳥山公園内（緑町西）では「開村記念碑」、文化財標柱「飛鳥山（旧競馬場）」などが建つ。

江別屯田兵村は江別駅の東側、早苗別地区に屯田兵の追給地を与えた。低地で湿地帯だったことから本格的な耕作には向いていなかった。早苗別公有地（上江別東町）は牛馬の放牧場や屯田兵の馬の訓練場も兼ねた1周500mの競馬場があった、早苗別川の蛇行に沿った形状から「ひょうたん競馬場」と呼ばれた。競馬は屯田兵村の慰安を目的に春・秋の年2回開催された。

1910（明治43）年馬場を飛鳥山へ移転、1916（大正5）年には江別競馬会（会長岡田伊太郎）が発足、飛鳥山公園内に1周630mの卵形コースの馬場を整備した。競馬会発足の年、9月10日・11日、江別神社秋季例大祭に第1回競馬を開催、2日間で16レースが行われた。以後、1927（昭和2）年まで春秋年2回の競馬を開催した。

地下歩道出入り口の銘板

1927（昭和2）年「地方競馬規則」の公布により、それまでの草競馬の景品付き優勝馬投票が地方長官の許可制で追認され、産馬畜産組合など限定して地方競馬を開催できるようになった。江別も

飛鳥山の江別競馬場（えべつ昭和史より）

属する札幌市外5郡産馬畜産組合で1928（昭和3）年から競馬を開催すべく競馬場とグラウンドがある飛鳥山に1周1000mの馬場を拡張、江別競馬場と定めた。合わせて兵村1番通から兵村2番通までの区間を競馬場道路として整備した。

同年6月、江別町開村50周年記念祭の華として江別競馬がスタート。各支庁に1か所あった地方競馬は春秋2回、ともに各3日間程度で開催された。江別競馬（地方）は札幌競馬（公認）と岩見沢競馬（地方）の間の開催は予想以上の活況を呈した、1931（昭和6）年秋季開催では登録261頭、出場128頭という地方競馬の新記録も樹立した。前途洋々の江別競馬も翳りが差してくる。1933（昭和8）年春季から観覧税5％が課税されたことで今金、静内、倶知安、羽幌、旭川の地方競馬が開催中止に追い込まれ、開催した江別でも厳しい競馬運営となった。

こうした中、江別競馬では1934（昭和9）年春にコースの地形不整（いびつな卵形）の解消を含め、起死回生策として馬場を飛鳥山から旧町村農場西側の見晴ヶ丘（元江別）に移転した。1周1200mコースと3棟の観覧席と湯呑所もある地方競馬としては豪華な施設となった。見晴ヶ丘競馬場は1938（昭和13）年まで春秋の2回開催された。

その頃から急速に戦争の足音が高まり1936（昭和11）年、馬政局は「馬政の主眼は戦列部隊所要の有能馬を供給することになり」と乗馬を制限、翌年、日中戦争の勃発、1939（昭和14）年「軍馬資源保護法」の公布により地方競馬は軍用保護場の鍛錬の一環として優等馬票の発行が認められる鍛錬馬競走へと変わり、馬場は1府県1か所以内、北海道は3カ所以内とされ帯広、旭川、岩見沢の3か所が指定を受けた。江別を含む他の地方競馬は廃場となった。

競馬場通り地下歩道

道央農業協同組合（JA道央）江別支店東側の市道を北へ直進すると、江別第一小学校と江別市郷土資料館の間を抜けて飛鳥山公園にぶつかる。公園までの道路、途中国道12号に分断されたため、地下歩道をくぐり抜けないと公園側に出られない。その地下歩道の入り口に“競馬場通り地下歩道”の銘板（プレート）が掲示されている。競馬場の名残を留める。

［参考：えべつ昭和史（江別市）平成7年、新江別市史（江別市）平成17年、江別屯田兵村史（江別市・新館長次）昭和57年、馬のいる風景（斎藤俊彦）中西出版・2012年］

工業団地協同組合で近日開催予定のイベント予告

職長・安全衛生責任者教育講習会　2月3日(火)～4日(水)開催

職長等、労働者を直接指揮・監督する者、または今後その職務に就く予定の者を対象とした労働安全衛生法第60条に基づく「職長教育」と、建設業における安全衛生責任者、または今後その職務に就く予定の者を対象とする、通達で示された「安全衛生責任者教育」を併せた講習会です。

この講習会（14時間のカリキュラム）を受講されますと、「職長教育」と「安全衛生責任者教育」の2つの教育を修了したものと認められ、受講者には組合理事長名による「修了証」を交付いたします。

※労働安全衛生法施行令の改正により、令和5年4月1日より、職長等に対する安全衛生教育が必要となる業種に、これまで対象外であった「食料品製造業」、「新聞業、出版業、製本業及び印刷物加工業」が新たに加わりました。

低圧電気取扱者 労働安全衛生特別教育講習会　3月3日(火)開催

電気設備の整備や保守管理、適正な作業の遂行を図るとともに、電気取扱業務の従事者は、その作業を安全に行うための知識及び技能を有する事が重要です。

労働安全衛生法及び厚生労働省通達で定められたカリキュラム（8時間）に基づく受講内容で講習会を行い、受講者には　一般社団法人　日本電気協会北海道支部より「修了証」を交付いたします。

親睦麻雀大会開催　2月28日(土)開催

福利厚生事業の一環として組合創立後まもなくスタートした親睦麻雀大会。その伝統を引き継いで本年も上記の日程で開催いたしますので、組合員の皆様の参加をお待ちしております。

組合予定行事

【1月】
15日(木)／組合新年交礼会
「ついしかり」第170号発行
21日(水)／定例三役会
27日(火)／理事会

【2月】
3日(火)／職長・安全衛生責任者教育講習会 1日目
4日(水)／〃 2日目
5日(木)／広報編集委員会
18日(水)／定例三役会
26日(木)／福利厚生広報委員会
28日(土)／親睦麻雀大会

【3月】
3日(火)／低圧電気取扱者労働安全衛生教育講習会
5日(木)／安全衛生委員会
10日(火)／販売購買委員会
17日(火)／共同受電事業委員会
18日(水)／定例三役会
19日(木)／総務委員会
24日(火)／理事会
〃／5委員会合同委員会